



元号が改まり、令和となった年も残りひと月になりました。園舎改築計画も順調に進み、今月から仮設園舎の建設に入ります。長年、子どもたちが一日を過ごし、子どもたちの健やかな育ちを見守ってくれた園舎とも来月にはお別れになります。新たな園舎でこれまでと変わらず過ごせる日は一年先になりますが、令和という新しい時代にふさわしい環境を整え、これまで以上に子どもたち一人一人がその子らしく成長できるように支えていきたいと思っております。保護者の皆様には、送迎時の駐車場や道路の通行等でご不便をおかけすることもあります。ご理解とご協力をお願いします。

さて、園庭では、今年も3歳以上児のマラソンが始まっています。

岩根保育園のマラソンは昭和44年から冬に行っている歴史のある行事です。長い間、園周辺を走っていましたが、道路事情も変わってきたことで、7年ぐらい前からは園庭を走っています。この機会に「子どもの心臓に負担をかけない走らせ方」「持久力をつけさせる方法」など子どもたちにマラソンをどのように走らせたら良いのかについて職員でいろいろ意見を出し合い検討しました。そして 現在、年少児は5周、年中児は7周、年長児は10周園庭を走っています。みんなが同じペースで走れるように保育者が先頭を走ります。年長児は、11月最後の週からは子どもたちが交代で先頭を走っています。他の仲間のことも考えながらペースを考えて走っているのがわかります。自分が走らないときは、「1周目」「2周目」と大きな声で数えながら応援します。走っている子は応援に元気をもらって最後まで走りきります。また走っているときに転んだ子がいると自然に抱き起こしてくれたりもします。

年長児は体操服に着替えて走っています。平成元年に「体操服を着て走るのはどうだろう」と保育者が提案したところ、子どもたちも賛成してくれて現在まで続いています。年少児、年中児は「体操服を着て走る年長さんはかっこいい!」と憧れを持っています。去年は年中児が「自分たちも体操服で走りたい」と言ってきて最後の日だけ体操服を着て走りました。今年は年少児で同じようなことを言っている子がいるようです。私たち保育者は、子どもたちの体のことばかり考えていましたが、このような様子から子どもたちは心がたくさん育っているのがわかります。12月6日で終わります。期間中「保育参加」に来ていただいた保護者のみなさんには一緒に走っていただいたり、たくさん応援していただいたりしました。園長 平野弘和

